

「人生劇場 ー穏やかな幕引きをー」

老人ホーム常勤医が語る **平穩死** のすすめ

石飛先生からの メッセージ

「老いて衰えて必ず訪れる老衰死、これは自然の決まりです。私は老人ホームで老いて死に向かう人々の看取りを行ってまいりました。ご家族に見守られながら、特別な処置を行うことなく、安らかに死を迎えることこそ、人の終末のあり方であると私は確信しております。私の講演が、死と向き合い、生き方を真剣に考えるきっかけとなれば、とても嬉しく思います。(一部抜粋)」

日時

2019年 **9月18日(水)**
18:00~20:00
(受付開始時間) 17:40

会場

ウインクあいち
1102会議室
名古屋市中村区名駅4-4-38

参加費

2,000円
(セミナー終了後、4,000円程度で懇親会も予定しております)

定員

80名

【プロフィール】

石飛 幸三(いしとび こうぞう)

(世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム 常勤医師)
1935年生まれ。
1961年慶応義塾大学医学部卒業。
1970年ドイツで血管外科医として勤務。
1972年東京都済生会中央病院勤務。
2005年より現職
執筆・講演・メディアを通して、なぜ自然な老衰死ができないのかを問い続け、2010年刊行の『「平穩死」のすすめ』はベストセラーとなる。また2015年放送のNHKスペシャル「老衰死～穏やかな最期を迎えるには～」に出演、大きな反響を呼んだ。
主な著書:「家族と迎える平穩死」(廣済堂出版)「平穩死という生き方」(幻冬舎)「穏やかな死のために」(さくら舎)

【日本相続学会東海ブロック推薦のことば】

超高齢者への延命治療の是非を問いかけてきた先駆者である先生は、80歳を過ぎた今も現役の医師です。強い意志と深い愛情から紡がれるメッセージは円満円滑な相続へ一石を投じることと信じています。貴重な講演にぜひ足をお運びください。

一般社団法人日本相続学会

「円満かつ円滑な相続」が社会に広く普及することを目指し、研究者・弁護士・税理士・司法書士・保険・不動産などの実務者、関係者の参加を得て2012年11月に設立。現在の会員数は全国に250名余。

- ①相続学という学問領域を確立すること ②会員が地域で連携すること ③会員が情報交換と研鑽を重ねること ④研究成果等の情報を広く社会に公開すること ⑤適時、政府に対して政策提言を行うこと を課題としています。

一般社団法人日本相続学会 東海ブロック オープンセミナー 参加申込書

氏名 (フリガナ)	会員 ・ 一般	紹介者
連絡先 〒 _____	TEL _____	

■ 申込内容 (A・Bいずれかに○をつけてください)		参加費
A	オープンセミナー参加	2,000円
B	オープンセミナー参加 + 参加者懇親会	6,000円



FAX: 052-265-6664

申込期限 9月4日

※お一人1枚をFAXまたはメールにてお送りください。

■ 参加者懇親会

ウイングあいちに近い場所に会場を設定し、20:10から開催します。会場は当日発表。

■ 参加費

当日受付にて集金します。

■ 変更・キャンセル

変更・キャンセルの場合は、事務局へFAXまたはメールにて速やかに、ご連絡願います。懇親会は2日前からキャンセル料が必要です。

■ 申込書送付先 (FAXまたはE-mail)

FAX: 052-265-6664

E-mail: otoiawase8@sakura-sogo.jp

■ 問い合わせ

一般社団法人日本相続学会 東海ブロック事務局
名古屋市中区錦二丁目4-3錦パークビル2F
さくら総合法律事務所 TEL: 052-265-6663

■ 個人情報

お送りいただいた個人情報は、オープンセミナーの情報提供、参加確認、通知連絡等のほか、本学会に関連する催しや書籍等の情報提供のために使用します。

一般社団法人日本相続学会®

The Japanese Inheritance Association

東京都千代田区外神田6-9-6 平川会計パートナーズ内

FAX 050-3730-8835 URL <http://souzoku-gakkai.jp/>